

はびきの

広 報

2 2012
FEBRUARY No.604

2012年2月1日発行

発行 羽曳野市 市長公室 秘書課
〒583-8585 羽曳野市菅田4-1-1
072-958-1111 (代表)URL <http://www.city.habikino.lg.jp/>
E-mail mailbox@city.habikino.lg.jp

カメラ付き携帯電話のバーコードリーダーで左のQRコードを読み取ってください。「モバイルシティはびきの」をご覧ください(QRコードは圏外センサーウェブの登録商標です)。

今月の表紙

増殖幼稚園の名称にある「埴生(はにふ)」は、古代日本の歴史書であります『日本書紀』の中にも描かれています大変由緒ある地名です。

もくじ

- 2 市長あいさつ
- 3 コンビニ交付について
- 4 健康フォーラム・自殺予防対策講演会
- 5 財政健全化計画・経済センサス活動調査
- 6 所得税の申告ほか
- 7 市・府民税の申告ほか
- 8 温室効果ガス排出状況・石川クリーン作戦
- 9 青少年児童センター・サラダボール
- 10 市民大学
- 13 図書館だより・白鳥児童館
- 14 国民年金・かかりつけ健康メール・東洋医療
- 15 LICはびきの
- 16 子育て支援センター
- 18 健康ファミリー
- 20 街かどから
- 22 制度・お知らせ・スポーツ
- 33 相談窓口
- 34 市民のページ・風流韻事
- 35 社協・警察

羽曳野市

市章は“羽”の文字を抽象的に図案化し、シンプルに表現したもの。鳥のはばたきのような市の雄飛と発展性を示しています。

面積…26.44km²

人口…117,461人(前月比-118)

男… 56,198人

女… 61,263人

世帯… 48,799

(平成23年12月31日現在)

教育の充実をめざして！

次代につなぐ「ふるさと羽曳野」

市内の中学生向けに週末の市役所会議室を自習室として開放し、教員免許を持つ市民や市の若手職員らがサポートする「はびきの中学生study-O(スタディオ)」事業が、スタートして2年目を迎えています。



▲study-Oの学習風景

事業1年目の終了時に行いました参加者や保護者に対するアンケートで、非常に良好な評価をいただき、今年度も引き続き実施しています。

今年度の参加申込者数は約200人で、1日あたり平均約50人～60人の生徒たちが出席しています。定期テストや宿題、高校受験の他、日常の予習復習、自学自習にも利用されているようです。



子どもたちが、自ら学習の目的や方法を選択して、この自学自習の場で学ぶ姿勢は、短期的な学力向上だけでなく、知的好奇心や創造性を生涯持ち続けて成長することにつながるものだと大いに期待しています。

即効性のあるものについつい目を奪われがちですが、教育には長く大きな視点で見つめることも必要です。羽曳野の子どもたちが、地道に、逞しく骨太に成長することを願っています。

来年度24年度も「教育」への取り組みをさらに充実させたいと考えています。次代に“ふるさと羽曳野”をしっかりとつないでいけるよう、未来を担う子どもたちの育みを、市民の皆様とともに進めてまいります。



羽曳野市長 北川 嗣雄